



Build Your Dreams

2020年1月22日
ビーワイディージャパン株式会社

大型自動運転バス実用化に向けた空港内実証実験に協力

比亜迪（BYD）の日本法人 ビーワイディージャパン株式会社（本社：神奈川県横浜市、代表取締役社長：劉学亮、以下「BYD ジャパン」）は、全日本空輸株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：平子 裕志、以下「ANA」）が東京国際空港（以下「羽田空港」）で実施する、羽田空港の制限区域内において「自動運転バスの実用化」に向けた実証実験に協力します。

今回の実証実験では、BYD 大型電気バス K9RA をベースとし、先進モビリティ株式会社が改造した自動運転バスを使用します。また、SBドライブ株式会社が開発した自動運転車両運行プラットフォーム「Dispatcher（ディスパッチャー）※1」を車両に連携し、バスの遠隔監視を行います。

今回の実証実験結果を評価・分析し、お客様の乗り継ぎの利便性向上や、空港従業員の移動の効率化を目的とした試験運用（自動運転レベル3 ※2 相当）を2020年内にスタートします。

※1) Dispatcher は、SBドライブ株式会社の商標です

※2) 自動運転レベル3：システムが全ての運転タスクを実施するが、システムの介入要求等に対してドライバーが適切に対応することが必要



BYD 大型電気バス K9RA をベースとした ANA 自動運転バス

実証実験概要

- (1) 実施期間：2020年1月22日～31日（休日除く8日間）
- (2) 実施場所：羽田空港第2ターミナル 制限区域内 北乗降場→65番スポット付近→北乗降場 1周約1.9km
- (3) 使用車両：「BYD 大型電気バス K9RA」をベースに改造した自動運転バス

(主な搭載機器：自動操舵装置、EBS (Electronic Brake System)、GNSS受信機、ジャイロセンサ、各種センサ、走行制御コンピュータ、認識処理コンピュータ)

- (4) 主な実施内容：
 - ・空港制限区域内における大型自動運転バスによる自動運転レベル3相当での走行検証
 - ・自動運転バスの実用化に向けた課題の抽出、必要な環境整備の検証

※本実証実験の詳細は、全日本空輸株式会社のプレスリリースをご確認ください。

各社の役割

会社	主な役割
SBドライブ株式会社	自動運転車両運行プラットフォーム「Dispatcher」の提供、添乗員操作用アプリの提供
先進モビリティ株式会社	自動運転技術の提供、空港制限区域内の自動走行に関する技術検証
ビーワイディージャパン株式会社	ベース車両の提供、メンテナンス支援
全日本空輸株式会社	関係各所との運用諸調整、ドライバーの派遣、実用化を見据えた課題抽出

実証実験導入車両概要

車両名	BYD 大型電気バス K9RA
車両寸法 (mm)	全長 12,000 x 全幅 2,500 x 全高 3,400
乗車定員 (人)	57 (座席数 26、運転席を含む)

以上

本件に関するお問い合わせ

■ 製品に関するお問い合わせ

ビーワイディージャパン株式会社 EV 受付窓口 TEL:0120-934-557

■ 報道機関の方

ビーワイディージャパン株式会社 広報担当 山道、長谷川 TEL:045-290-6550